

令和2年度 事業報告書

特定非営利活動法人 エナガの会

1、活動の成果

NP0 法人エナガの会は、地域の医療・介護の多職種連携促進と、地域住民の健康と安心・安全な暮らしのため、情報提供、研修、相談を主として活動しています。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に終始し従来の活動ができませんでした。メンバーが全員、保健医療福祉の専門職であることから、それぞれの職場で感染対策を行いながら、様々な感染症予防対策に協力しました。

特にワクチン接種が開始されてからは、医師、歯科医師、薬剤師、看護師のメンバーが集団接種会場に出務してワクチン接種に協力しています。その他にも、ワクチン接種が遅れていた通所介護事業所の介護スタッフへのワクチン接種を神戸掖済会病院協力のもと、早期に実施する調整や情報発信等を行い、NP0 だからこそできることを行ってきました。

エナガの会は、地域の医療・介護の多職種連携を推進することが使命です。特に現実的な「顔の見える関係」を大切にしてきました。それだけに顔を合わせることができない現状は厳しいものでした。しかし、このような状況下であるが故に、エナガの会が構築してきたネットワークが確認できた1年でもありました。

まず、WEB会議システム「ZOOM」を活用した情報交換会を毎月行いました。保健医療福祉の専門職であっても対面機会がない中で、貴重な意見交換の場になりました。今、在宅の医療・介護の状況はどうなっているのか？病院の状況は、施設の状況は？そこでの課題は何か？何かできることはないか等を意見交換しました。関係者でも自分の持ち場以外の状況が見えない中で地域状況を把握できる貴重な場でした。

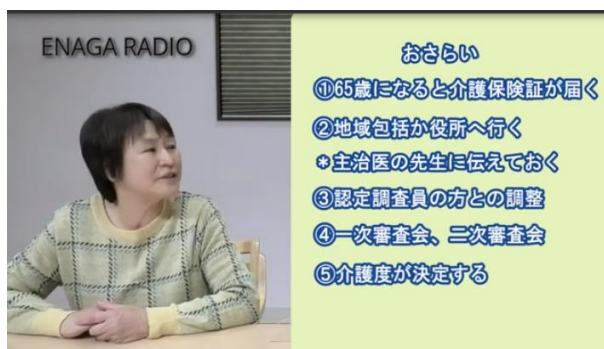
地域住民からの依頼で8月と10月には少人数での対面研修も行いました。12月には兵庫県丹波篠山市において多職種連携の研修も行いました。これは主催者側のたつてのねがいで厳重な感染対策の上で実施しました。緊急事態宣言前後の研修・イベントは全て中止となりましたが、このような状況下でも対面での研修を依頼されたことの意味は大きいと思います。

新たな試みとしては、インターネットを活用した動画配信も開始しました。YouTubeで「エナガラジオ」と題した、医療と介護の情報番組を制作しました。これは、ラジオDJの経歴をもつ常深理事による分かりやすいトークで一般の方に情報を発信するものです。医療や介護の制度は複雑です。また、利用して体験しないと分からないというのも特徴です。制度や使い方を分かりやすく伝え、考えておくべき課題についても皆さまの参考になるようにできればと考えております。





エナガの会 代表理事 中村治正（医師）



地域包括支援センター職員 須賀さん（看護師）
～介護保険の使い方を基本から説明～



エナガの会 理事 戎 智史（理学療法士）
～リハビリテーションの専門職、PT（理学療法士）について説明～

エナガラジオの開始に伴い、過去に地域住民の皆様向けに上演した劇の動画も視聴されるようになってきました。先日は千葉県看護学校の先生より問い合わせがありました。看護学生の授業で活用し、少しでも現場イメージを伝えたいとのことでした。



「裕次郎さんの退院」 YouTube で公開中
劇を通して、病院から退院し、在宅サービスを使って、自宅で生活するまでの様子を伝える。

このように決して大きな成果とは言えませんが、つながりが保たれながら、新たなつながりもできています。

コロナ禍が収束した後の社会がどのようになるのかわかりません。確実なのは少子高齢多死社会の進展です。

これは数字上の進展だけでなく、その中身が変わるのではないかと考えます。コロナ禍を通じ、死生観が変わった人も多いことでしょう。医療の在り方を考えた人もいます。信じられないことですが、神戸市ではコロナ陽性で入院必要な方が1500名近くも入院できない事態がありました。平時なら確実に入院する患者さんが、自宅で酸素投与しながら療養するしかない状況は衝撃でした。しかも、このような医療逼迫状態が一般の方々に必ずしも正しく伝わっていると言えない現状があることです。

直面した人しかわからない。でも、直面してからでは遅い現実。今は何も問題なくても、いつ何時その状態になるかわからない現実。誰もが想定外のリスクに備えねばならない現実。それが今の社会であり、そこに医療・介護がどのように備えているかが重要であると思います。今できることは、つながりを保つこと、正しい情報を発信し続けることでしょうか。

テレビでは様々な情報が流れていますが、多くは不安と混乱をあおるだけです。現状では唯一の解決手段と考えられるワクチン接種についても様々な見解があり混乱しています。何が正しく、何が問題なのかを見失いやすい状況にあると言えます。

見えてくるのは、個人を中心とした「個人の価値観を重視した上での選択」であり、それを社会がどのように受け止められるのか、そのために一人一人がどのような認識を持つべきかが問われているように考えます。

このように、様々な情報が氾濫する中で、個人の価値観を大切にしながら周囲がサポートして行く状況は、厚生労働省が推進し、当会も地域への理解促進を進めてきた「人生会議」に通じるものがあると考えます。

課題や問題が山積みで混乱してしまっていますが、必要となる基本は変わりません。

それは、「誰もが、住み慣れた地域で、安心して、最後まで、自分らしく、暮らせる地域作り」を行うことです。

そのために、エナガの会では3つのことを推進しようとしています。

それは、

- ① 医療と介護の連携
- ② 地域の皆様の医療・介護への理解
- ③ 専門家と地域の皆様との関係構築

上記の3つです。

これらは、現在のような混迷した状況でこそ最も大切なことだと思います

制限の多い社会状況ではありますが、基本を大切に地道な活動を継続したいと思います。

2、特定非営利に係る事業

(1) 垂水区市民フォーラムの開催

令和2年10月20日(土)に予定しておりましたが中止しました。

(2) 研修事業

① 医療・介護の専門職を対象とした多職種連携促進の為の研修

・薬剤師生涯研修会 in ささやま

内容：「薬剤師の目線と多職種目線」

日時：令和2年12月19日(土) 笹山市民センター

講師：山本哲也

令和3年1月16日(土) → 緊急事態宣言のため中止。

令和3年2月20日(土) → 緊急事態宣言のため中止。

・第33回 垂水在宅医療勉強会 zoom オンライン研修

内容：「利用者・家族とのリスクコミュニケーション」

～介護施設相談員としての実践から得た対応～

日時：令和3年3月13日(土)

講師：木村和弘

・在宅医歯薬連合学会

新型コロナ感染拡大のため中止

・神戸薬科大学エクステンションセンター研修

新型コロナ感染拡大のため中止

② 地域住民向け啓発研修

・有志勉強会

内容：「お客様との信頼関係を深める話の聴き方講座！」

～コロナ禍は、コミュニケーション革命！だから、今、学ぼう！～

日時：令和2年7月8日(水) WEB 開催

講師：木村和弘

・上高丸地域研修

内容：「健康寿命を延伸しよう ～楽しく動いてフレイル予防～」

日時：令和2年8月24日(月)

講師：戎 智史

・名谷地区民児協研修会

内容：「医療・介護の終活」

日時：令和2年10月17日(土) 名谷福祉センター

講師：木村和弘

③医療・介護事業所向け研修

・Tライン（垂水区介護サービス事業者連絡会）

内容：「高齢者虐待防止研修

～在宅の高齢者虐待の要因と兆候適切なストレス対処で、今をのりきり、
頑張ろう～」

日時：令和2年 9月15日（火）オンライン開催（ZOOM）

講師：木村和弘

・神戸薬科大学 4回生への講義

内容：地域包括ケアと薬局と薬剤師

日時：令和2年10月16日（金）

講師：山本哲也

・たるみな倶楽部 職員研修

内容：「高齢者虐待防止研修

～高齢者虐待防止の基本と虐待防止のための行動～」

日時：令和2年12月16日（水）オンライン開催（ZOOM）

講師：木村和弘

④その他

・垂水区地域ケア推進検討委員会への参加

令和2年 7月29日（水）垂水区医師会 オンライン

11月25日（水）垂水区医師会 オンライン

令和3年 3月24日（水）垂水区医師会 オンライン

・垂水区地域ケア推進検討 勉強会検討小委員会への参加（オンライン）

（3）各地域の多職種連携促進サポート活動

→本年度はありません。

（4）活動報告・学会発表等

→本年度はありません。

（5）多職種によるオンライン情報交換会

令和2年 7月 2日（木）第 7回 zoom 会議

7月16日（木）第 8回 zoom 会議

7月30日（木）第 9回 zoom 会議

8月20日（木）第10回 zoom 会議

9月10日（木）第11回 zoom 会議

10月 8日（木）第12回 zoom 会議

11月 5日（木）第13回 zoom 会議

12月 3日（木）第14回 zoom 会議

令和3年 1月26日（火）オンライン新年会

2月18日（木）第15回 zoom 会議

3月24日(水) 第16回 zoom 会議
4月28日(水) 第17回 zoom 会議
5月24日(月) 第18回 zoom 会議

(6) 市民向け 情報発信 YouTube「エナガラジオ」の撮影

令和2年11月 5日(木) 予告編撮影
11月19日(木) 中村代表動画撮影
12月 3日(木) 戎PT 動画撮影
12月24日(木) 須賀さん動画撮影

3、事業実施体制

(1) 会議に関する事項

監査 令和2年7月28日(木) 千代ヶ丘「つながりの場所」
担当：理事 山本哲也
監事 白川晶一

定時総会 令和2年9月 5日(土) オンライン Microsoft teams

第1回理事会 令和2年7月 1日(水) オンライン Microsoft teams

第2回理事会 令和3年1月26日(火) オンライン ZOOM

(2) 事務局体制

代表理事 1名
副代表 2名(各種窓口、企画)

(3) 会員

正会員 (個人) 64名 (法人) 4法人
賛助会員 (個人) 5名 (法人) 2法人

今年度は個人会員が3名増えました。

(4) ボランティア

今年度はありません。今後、地域活動等への参加を考えています。

(5) 連携グループ

垂水区医師会、垂水区薬剤師会、垂水区歯科医師会、神戸市垂水区役所
神戸市ケアマネジャー連絡会垂水支部